

市政を思い発言する会からお知らせ

発行：市政を思い発言する会（TEL 82-1255）

協賛（佐々木重信後援会）

（住所 真岡市東郷457-1）

◎ 子ども達と市民に投資します

東京都は、0～18歳までの子ども達に、毎月1人に5,000円支給して、子ども達の教育に投資しております。

私達も、真岡の子ども達1人に年間30,000円支給し、子ども達の教育に掛けようではありませんか。今は建物ではありません、東京都と同じ様に教育に投資です。皆さんと一緒に実現したいです。

尚、お年寄りの皆さんには、真岡市のために力を発揮してくれて、今日の真岡市があります。その貢献に感謝し、より良い真岡市発展のために、お年寄り1人に、50,000円の生活支援を致しましょう。今の厳しい物価高の生活苦をふっしょくして、真岡市の発展につなげるため、今が最適のチャンスであります。

◎ 4年前の市長選の選管発表の収支を分析すると

令和3年4月25日執行の市長選の収支報告書から

候補者	佐々木 重信	石坂 真一
収入	円	円
寄付	310,000	3,660,000
その他の収入	1,000,000（本人からのお金）	1,000,000（本人からのお金）
合計	1,310,000	4,660,000
支出		
人件費	90,000	950,000
家屋費	70,000	602,416
印刷費	675,600	388,000
広告費	354,420	157,000
文具食糧費		185,934
雑費	66,880	28,283
合計	1,256,900	2,311,633
差額	53,100	2,348,367

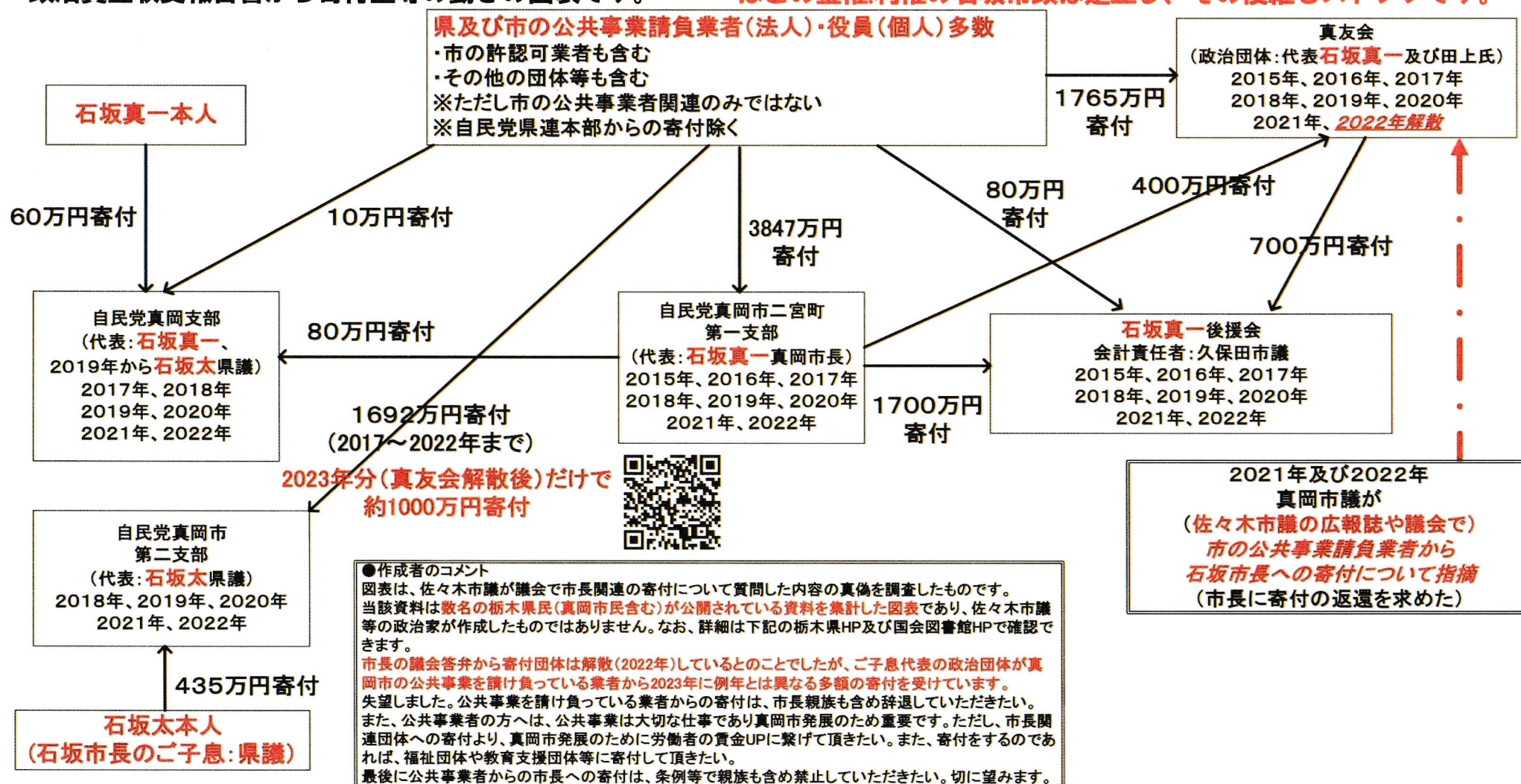
上記は、市長選でのお金の収支状況ですが、石坂候補は、寄付金収入366万円の内、ボランティアの無償労務提供の寄付が53万円で、313万円が建設業者等からの寄付金でした。佐々木候補は、建設業者からの寄付金は無く、本人からのその他の収入100万円とボランティアの無償労務提供の寄付31万円でした。以上が、選管発表の市長選の収支報告書からの公表金額の数字でした。

然し、市長選の報告書に出ないお金の支出があるのも現実です。石坂候補には、後援会等3つの政治団体があり、裏面記載の様に約1億円も自由になる寄付金です。市長選に優に出られる状況を示しておりました。

一方佐々木候補は、後援会はありましたが、休眠状態でして、選挙に出られる状態ではありませんでした。然し、長年の政治経験とお世話になった多くの方々のお蔭で、何とか市長選に出られたのが、4年前の市長選の経緯でありました。よく善戦されたと選管発表の資金面からも分析出来る結果です。

以上ですが、誰もが参加しやすい選挙にしたい思いで一杯です。まず皆さんと一緒に、金権及び利権政治ストップを、やり遂げねばならないと、真剣に考えておるところであります。お力をお願いします。

- 2015～22年度の石坂真一真岡市長に関する政治団体の・・・自民党分等も合算すると1億円以上になるかも知れません。これほどの金権・利権の石坂市政は是正し、その後継もストップです。



領収書義務なし支出	自民党真岡市 二宮町第一支部	自民党真岡支部	自民党真岡 第二支部	石坂真一後援会	真友会	合計(万円)
人件費	735	0	241	1182	427	2585
政治活動費(組織活動費)	1731	681	426	763	815	4416

●栃木県等のHP(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/k05/pref/senkyo/jyouthou/kisei.html>)記載の政治資金収支報告書等を集計した資料となります。資料については各自で確認してください。